

主題：神の家また神の都としての召会を建造するための 主の回復の内在的な意義

メッセージ 15

今日の主の回復におけるエパの器のビジョンの適用

聖書：ゼカリヤ 5:5-11. 啓 18:2-5, 9-20. ルカ 16:13. ヘブル 13:5 前半

I. エパの器のビジョンは、地上での商売、あるいは商業の悪を表徴します——ゼカリヤ 5:5-11：

- A. 商業は正当な外観があるように見えます。実は、商業は邪悪であり、悪に満ちているのです——7-8 節。
- B. エパの器の中に座っている女は、むさぼり、欺き、金銭愛のような、商業の中にある悪を表徴します——8 節前半。
- C. このビジョンは、啓示録第 18 章にある大いなるバビロンのビジョンと一致します。この二つのビジョンは、神の目に、商業の中にある悪が偶像礼拝と淫行の形であることを見せています：
 - 1. 商業の始まりはサタンに結び付けられ、その終わりはバビロンに結び付けられます——エゼキエル第 28 章. 啓第 18 章：
 - a. エゼキエル第 28 章はこの世の商業の始まりであり、啓示録第 18 章はこの世の商業の究極的完成、頂点の発展です。
 - b. 神からの最も厳しい裁きは、バビロンに対してもたらされます。なぜならそれは、貿易と罪の縮図による増大の究極的完成であるからです——2-3, 5, 15-17 節前半, 20 節。
 - 2. 商業はほかでもなく、「情欲によるこの世の腐敗」（Ⅱペテロ 1:4）にある領域であり、クリスチャンの最も高い原則さえ非道に追い求めさせ、容易に彼らを損なうことができます——ネヘミヤ 5:1-13. 13:10-14。
- D. シナルの地の女のために家を建てることは、神の主権が、イスラエルの民がバビロンの捕囚から学んだ商売における悪を、バビロンに戻すことを表徴します——ゼカリヤ 5:9-11。

II. わたしたちは商業的な思いから解放される必要があります——マタイ 19:27 — 20:16：

- A. サタンは商売人、商人であって、彼の思いは商売の原則にしたがっています——ヨブ 1:9-11. エゼキエル 28:16, 18. 参照、啓 18:2-5, 9-19。
- B. マタイ第 19 章 27 節の主に対するペテロの観念は商業的であり、働きの原則にしたがっていました。主はペテロに対する答えの中で、彼の褒賞は商業的ではなく、彼の願いと恵みにしたがっていることを強く示しました——28 節—20:16：
 - 1. ペテロの天然の観念はすべての信者の観念を代表し、商業的でした——11-12 節。
 - 2. 14 節の主の言葉は、ペテロの天然の商業的な思いを打ち砕き、彼の商業の観念を破壊しました——16:23-26. Ⅱコリント 10:4-5。

III. 「どの家僕も、二人の主人に仕えることはできない。なぜなら、彼は一方を憎んで他

方を愛し、一方を重んじて他方を軽んじるからである。あなたがたは、神とマモンとに仕えることはできない」——ルカ 16:13 :

- A. マモンが反対して立つことは、財産、あるいは富が神の反対者であり、神の民が神に仕えるのを奪うことを示しています。
- B. 主に仕えることは、わたしたちが彼を愛し、心を彼にささげることを要求し、彼に対して突き進み、わたしたちの全存在を彼にささげることを要求します——マタイ 6:1-21 :
 - 1. このようにして、わたしたちはマモンに占有され強奪されることから解放され、完全に十分に主に仕えることができます。
 - 2. わたしたちは主に仕えるために、そそのかし欺く不義のマモンに打ち勝たなければなりません——ルカ 16:9, 13. マタイ 13:22。
- C. 復活の中で金銭と財物をささげることは、わたしたちが復活の中で神の統治の下におり、物質の富の所有に打ち勝ったことの強い証拠です—— I コリント 16:1-3. 使徒 2:44-45. 4:32-35。
- D. わたしたちは、主が繁栄させたものに応じてささげる必要があります。わたしたちは財政の予算を組むことで、主によって備えられる繁栄にしたがって、年ごとにささげるのを増やすべきです—— 11:29. I コリント 16:2。
- E. わたしたちが神に属するものを完全に神にささげて召会が豊かに供給されるなら、神は天の窓をわたしたちに開いて祝福を注ぎ出し、入れておく余地がないまでになるでしょう——マラキ 3:10。

IV. 「金銭を愛する生活をしないで」——ヘブル 13:5 前半 :

- A. 富むことを願っている者は、わなと、多くの愚かで有害な願望とに落ち込むのです。それは、人々を破壊と滅亡に投げ込みます—— I テモテ 6:9。
- B. 金銭を愛することのゆえに、ある人はその信仰から迷い出てしまい、自分自身を多くの苦痛で刺し通しました—— 10 節。
- C. わたしたちは欺く不確かな富に望みを置かず、わたしたちの享受のために、すべてのものを豊かに与えてくださる神に望みを置かなければなりません—— 17-19 節。

V. わたしたちは自分の価値観を変えて、神聖な価値観を養成する必要があります——ルカ 16:15 後半 :

- A. 人が主を信じる前、彼の価値観は曲がっていましたが、いったん人が救われると、彼の価値観は変わります—— 19:2, 8-9。
- B. 聖書は人の価値観を変えることについて、多くの言うことがあります——詩 118:22. I コリント 1:18. マタイ 6:32-33. 10:37-38. 16:26. 18:8-9. 20:25-27. ヨブ 22:23-28. ヘブル 11:24-26。
- C. 神はわたしたちが尊いものを価値のないものから取り出して、彼の口となることができるようにと要求しています——エレミヤ 15:19。
- D. わたしたちに価値観の徹底的な変化があるなら、最も卓越した分を選ぶことを知るでしょう——ルカ 10:41-42. マタイ 26:6-13. ペリピ 3:7-11。